

03	<p>御前崎港周辺は、年間として平均風速が4～5m/s、最大風速については13～16m/s発生しており、洋上風力発電を計画するにあたって、好立地と思われます。実際、現在において、遠州灘の沿岸域には多くの風力発電施設が稼働しております。</p> <p>御前崎港脱炭素化推進計画（案）のP21の表12港湾・臨海部の脱炭素化に貢献する事業（将来の構想）に“洋上風力発電PJ”が記載されておりますが、御前崎港の脱炭素化の実現や、脱炭素社会の構築に向けて、必要不可欠な事業と思いました。</p>	<p>貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>今後、洋上風力発電の建設時に必要となる基地港湾や維持管理に必要となるO&M港[※]の拠点としての御前崎港の活用可能性を検討するなど、御前崎港港湾脱炭素化推進計画に基づき、官民連携して脱炭素化社会の構築に向けて取り組んでまいります。</p> <p>※O&M港：洋上風力発電の保守・管理拠点港</p>
04	<p>弊社では、脱炭素化の取組として、下記の技術開発を実施しておりますのでご紹介させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸送車両のEV化 ・特装車両のFCV化 ・水素発生/貯蔵/充填ステーション ・旅客向け周辺開発 ・旅客向けモビリティ ・津波対策（シェルター） 	<p>貴重な御意見、ありがとうございます。</p> <p>御紹介いただいた内容につきましては、カーボンニュートラルポートを目指す上で期待される技術であると認識しております。</p> <p>本計画では、その技術を整備する事業主体や整備期間等を記載する必要がありますので、関係者に情報提供するとともに、事業主体や整備期間等が定まりましたら、計画に反映してまいります。</p>
	(以下余白)	